

令和元年度 建設環境常任委員会意見交換会報告書

開催日時	令和元年11月13日（水）午後2時～午後4時
開催場所	富士見市役所全員協議会室
テーマ	富士見市商業の若手育成と事業承継について
出席議員	深瀬優子委員長 寺田玲副委員長 篠田剛委員（議長） 吉原孝好委員 田中栄志委員 村元寛委員 伊勢田幸正委員
参加人数	参加者9人（団体名 富士見市商工会商業部会）
実施内容	進行：田中栄志委員 1 開会 2 議長あいさつ（篠田剛議長） 3 委員長あいさつ（深瀬優子委員長） 4 委員自己紹介・参加者自己紹介 5 意見交換 6 商工会会長あいさつ 7 閉会（寺田玲副委員長） 議会事務局 本多事務局長 大熊主幹 まちづくり推進部 齊藤部長 産業振興課 佐々木課長 吉野副課長

1 意見交換で出された意見の概要

①市の産業振興メニューを活用した経験はありますか。ある場合には感想を。

<ある>

- ・商店街空き店舗出店支援事業補助金を利用した。大変助かった。
- ・商店を営んでおり補助は大変助かっている。

<ない>

- ・補助制度がよく分からないので利用していない。
- ・商業者向け、店舗向けの周知が足りないように感じる。自分が利用出来る制度が分かればもっと利用する人が増えると思う。
- ・補助メニューがたくさんあるのは分かるが、誰が、どうすれば使えるのかよく分からない。使い勝手の良さが求められているように感じる。
- ・もう少しかみ砕いて情報を与えて欲しい。
- ・技術職なので、内職で来ていただいた方に技術を伝えていくのが難しい。人の支援に対する補助があれば助かる。

②開業、創業にあたり、いつくらいから考え始めたか。

- ・2代目だが跡を継いでとは言われなかったし、継ぐ気もなかった。学校を卒業してお店を始めた。
- ・社長が代替わりをしたかったので、跡を継いだ。
- ・先代社長は早くやめたかったので、長年勤めた自分が承継しようと思った。
- ・元々継ぐ予定はなかったが、先代の急逝で承継。
- ・32歳で開業したが、本当は都内でやりたかった。

<実際に創業してみたの感想>

- ・親子で仕事をするのは難しい。
- ・人が集まるものを創りたい。
- ・跡取りが同じ商売を続けるのは稀。
- ・店舗の場所も変わり、なじみの客に来てもらうのに苦戦中だが、一つ一つやっていくのが大切。
- ・やればやるだけ大変だと感じるが、周囲に助けてもらっている。
- ・技術を覚えるまでに時間がかかる。
- ・技術者などを雇うほどの余裕はないので家族経営。
- ・最初は融資の手続きが大変だった。

③新しい創業者を増やすには何が必要だと思いませんか。

- ・運営資金や出店場所等の情報提供やアドバイスが聞ける場所があればよいと思う。

- ・新規出店者に補助金を出す。
- ・空き家や貸店舗を利用して仮出店出来る場所の提供や商売をパターン化して応用出来るビジネスモデルの提供があれば、より新規の創業者が増えると思う。
- ・今、お店をやっている皆さんの環境が良くなり商売が「楽しいよ」「儲かるよ」という話しが増えれば自然と新規創業者も増えると思う。
- ・自分もゼロからの出発だったが、周りの人に支えてもらい、出店店舗についてやお金の話し等色々教えてもらい大変助かった。そういった人のつながりが創業者を増やすために必要だと思う。
- ・自分がしたい商売に魅力がある事が必要だと思う。
- ・ベンチャー村のような新規創業者が集まれる場所がある事も一つの方法だと思う。
- ・市内商業活性化のためには、老若男女がバランスよく住んでもらうのが一番良い。
- ・商工会としても色々と仕掛けをして賑わい作りに取り組んでいる。更なる活気作りには産業団地などの企業誘致が必要だと考える。

2 まとめ

富士見市商工会商業部会にご協力いただき、市内の事業者から生の声を聞くことができた。参加者の意見から、商売を続けていくことの難しさや事業主として日々努力されていることを学んだ。また、商業者向けの補助について、周知の強化を求める意見が多かった。参加者の貴重な意見を今後の委員会活動に活かしていきたい。

※この記録は、意見交換会での発言をまとめたものです。

発言内容は、趣旨が読み取れる範囲で一部要約してあります。